



■発行年月日/2019年1月1日 ■発行/独立行政法人国立病院機構千葉医療センター ■発行責任者/院長 杉浦信之 ■編集者/副院長 斎藤幸雄
〒260-8606 千葉市中央区椿森4-1-2 Tel 043-251-5311 Fax 043-255-1675 http://www.hosp.go.jp/~chiba/

理念

信頼される医療を築く

Building Trust

私たちは、地域の方々に親しまれ、
信頼される医療を目指します。

基本方針

- ・ 患者さんをはじめ、センターに関わるすべての方々の人権を尊重し、相互信頼で成り立つ安全・安心な医療を目指します。
- ・ 地域の医療機関に信頼されるエビデンスに基づいた幅広くかつ専門性の高い急性期医療の構築を目指します。
- ・ 良質かつ最新の医療を提供するために教育・研究・研修・情報発信を推進し自己研鑽に努めます。以上の方針を継続的に実現する病院運営に努めます。



迎春（丹沢山縦走路）

撮影：齋藤雅男（事務部管理課長）



明けましておめでとうございます。

院長 杉浦信之

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり、良い年でありますよう祈念しています。

今年の干支は亥年です。去年は猪が市街地に出没し、大暴れをしている映像が放送されたり、農産物を荒らす被害の多いことが問題になっていました。猪にちなんだことわざもどちらかという良くない意味で使われることが多いようですが、当院にあてはめるとすると「猪見て矢を引く」が当たるかなと思います。ことが起こってからでは遅いという意味ですが、こ

トピックス(目次)

連携医院紹介	2
緩和ケア病棟がオープン/7階東棟棟休棟のお知らせ	3
診療トピックス	4
ANECDOTA「隠れた史実」(55)	5
災害訓練2018	6~7
関東ブロックDMAT訓練に参加	7
がん患者サロンだより/市民健康づくり大会	8
院内コンサート/QC活動奨励表彰(栄養管理室)	9
千葉看護学校だより	10
市民健康セミナー/専門外来・検査担当医師表/編集後記	11
外来担当医師表	12

主な行事予定

- 1/4 仕事始め
- 1/11 看護学校一般入学試験
- 1/24 第185回市民健康セミナー
- 2/28 第186回市民健康セミナー
- 3/5 看護学校卒業式
- 3/28 第187回市民健康セミナー

数年の収支をみると中長期の経営戦略が不十分だったのかと思います。当院の理念である「信頼される医療」を継続していくにはその土台となる「病院力」を再構築する必要があると考えます。関係職員の皆様の協力が不可欠ですので、「猪突猛進」とはいいませんが目標に向かって一直線に突き進む気概をもって難局に立ち向かうことが必要であり、ひとりひとりの進む力が総合力となって「頼れる病院」となることを願っています。

昨年は「今年の漢字」で代表されるように天災が

1年を通じてみられましたが、アメリカでは「天才」研修医が活躍する医療ドラマが大ヒットしています。当院も天才とはいませんが優秀な研修医の先生の存在が医局の活性化にも繋がっています。各職場でも新人の方々が頑張っているのを目のあたりにして、皆さんがモチベーションを高くもって気持ちよく働ける環境を築いていきたいと思えます。亥年は「無病息災の年」ともいわれていますが油断は禁物です。皆さんの健康維持が望まれます。インフルエンザの対策を含め自己管理の強化をお願いいたします。

連携医院紹介

南花園クリニック

千葉市花見川区南花園町 1 - 44 - 9
高山ビル2階2階
☎ 043-239-5111

院長 高山 秀一

南花園クリニックは新検見川駅南口より徒歩1分の地にあり、脳神経外科と老年内科を標榜し外来と訪問診療を行っています。

外来は頭痛、てんかん、認知症、脳卒中後遺症、パーキンソン病などの患者さんを拝見しています。患者さんをお待たせする時間も少なく、お一人あたり30分ほどかけてじっくりとお話を伺っています。長い待ち時間や病院の混雑が苦手な患者さんは、是非にお越しください。働いている患者さんにもご利用いただけるよう、月曜夜、土曜日も診療しております。

訪問診療は、通院による受診が困難な認知症、脳卒中後遺症、頭部外傷後遺症、神経難病、がん終末期、心不全呼吸不全などの患者さんのお宅に定期的に訪問して、注射を含めた投薬、処置を行います。こちらも一回の訪問に30分ほどを充てていますので、患者さんやご家族とゆっくりご相談しながら診療いたします。訪問診療で対応できない病状になった際には、千葉医療センターに入院して治療を受けることができます。

当クリニックは24時間365日、連絡が取れ往診が可能な在宅療養支援診療所として届け出ています。通院に必要な労力や交通手段の確保が大変だと思われる患者さんはお気軽にご相談ください。訪問が可能なエリアは花見川区、稲毛区、美浜区、中央区などです。

当クリニックの地図など、より詳しい情報は「南花園クリニック」で検索するか、ホームページをご覧ください



南花園クリニック受付にて

い。(ホームページ <https://www.sfg-clinic.jp/>)

院長の高山秀一は、千葉医療センター特命副院長・手術部長の中村達雄先生と千葉大附属中、千葉高で同級生でした。往時は国立千葉病院の名称でしたが、「椿森の国立病院」として高名な病院でした。その後久しく千葉を離れておりましたが、2年半前に老健まくりの郷の施設長として戻りました。入居者が千葉医療センターを受診すると、まず地域医療連携室から受診報告のFAXが届き、続いて診察された先生から詳細なご報告書を頂き感激しておりました。

開業に伴い千葉市医師会を通じてオープンシステムに登録させていただきましたが、森嶋友一先生はじめ皆様にわざわざクリニックまでお越し頂き、誠に恐れ入った次第です。早速、頭部MRI検査を千葉医療センターにお願いしておりますが、いつも迅速に予約のお返事を頂戴し感心しております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

緩和ケア病棟がオープンします

がん診療部長 豊田 康 義

前回の病院ニュースでお知らせしましたが、1月4日に緩和ケア病棟が仮オープンしました（本格的な稼働は3月を予定しています）。場所は8階病棟をリニューアル、**“私たちは、患者さんの思いを尊重し、大切な時間をその人らしく生きることを支えます”**を病棟理念とし、患者さんが快適な療養生活を送れる病棟を目指します。

緩和ケア病棟の病床数は全20床となりますが、プライバシーを保ち、気兼ねなく面会も行えるようにすべてが個室となります。よりゆったりとした作りの特別室2部屋以外の18室は個室料金をいただかない無料個室です。各部屋には、バス・トイレを完備し、テレビも無料でご覧いただけます。面会時間はご家族の方は特に制限時間を設けず、個室なので夜間でも病室に付き添っていただくこともできます（ご家族以外の方は、通常通りの面会時間となります）。

共用のスペースとして、簡単な料理ができるミニキッチンや大型テレビ・ブルーレイを設置した談話室も設けます。談話室では、七夕祭りやクリスマス会など季節のイベントも行う予定です。また通常の入浴が困難な患者さんもお風呂に入っていただくために、緩和ケア病棟専用の機械浴室も設置しました。

がんの苦しみは痛みなどの身体的苦痛だけでなく、精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルペインからなるトータルペインであり、薬だけでは解決しません。様々な苦痛に対応するためには、多職種で対応していく必要があるといわれています。緩和ケア病棟では、医師・看護師をはじめ専門のスタッフがチームとして患者さんの苦しみに対応します。それでも苦しみが全てなくなる訳ではありません。病気の進行により解決



できない様々な問題が出てきます。その結果いつく最期の段階が死です。死は誰でも一度は必ず経験することですが、その時の想いは様々で、決まった対応法もありません。緩和ケア病棟では、苦痛をとりきることは難しくても、患者さんひとりひとりに寄り添い、その人の想いを大切に、自分らしく過せるようにお手伝いをします。お話を伺いすることを大切に、患者さんが感じている思いを共有したいと考えています。



緩和ケア病棟入院のご希望がある場合は、まずは主治医の先生にご相談いただき、当院までお電話をください。

7階東病棟休棟のお知らせ

この度、諸事情により平成30年12月31日をもちまして、精神・神経科病棟を休止する事となりました。

なお、外来診療は今までと変わりなく継続い

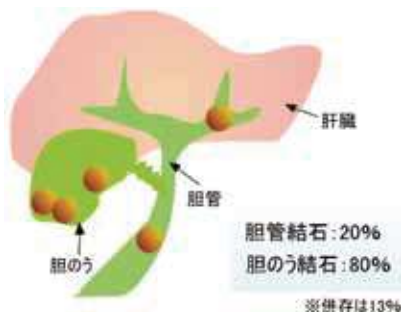
たしますが、入院治療が必要な患者さんは他院をご紹介します等の対応とさせていただきます。

大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

診療トピックス ⑦②

胆石外来

2018年12月より毎週水曜日午後12時から「胆石外来」をスタートしました。主に扱う疾患は胆嚢結石症、胆嚢ポリープです。胆嚢結石による症状でお困りの方、症状はないけれど、たまたま見つかった胆嚢結石や胆嚢ポリープをどうしたものかとお考えの方の相談にのります。また、2泊3日の短期入院胆嚢摘出術も開始しました。



<胆石とは?>

肝臓や胆嚢、胆管にできる石です。石のある部位によって肝内結石、胆嚢結石、総胆管結石と呼ばれます。日本では胆嚢結石が最も多く80%を占めます。胆石ができる原因は感染、胆汁成分の偏り、溶血などです。

<胆嚢ポリープとは?>

胆嚢にできた隆起病変です。多くはコレステロールが析出して隆起した良性ポリープですが、1cmを超えるもの、次第に大きくなるものは悪性＝胆嚢癌の可能性があるので胆嚢摘出術が勧められます。

<症状は?>

胆嚢結石で最も多いのは「痛み」です。お腹の右上の痛み、みぞおちの痛み、背中への痛みなどがあります。痛みの程度には幅があり、疝痛と言われる鋭く激しい痛みから、鈍い痛み、違和感、張り感など軽い場合もあります。痛みに加え、「熱」がでたり、胆嚢が腫れて胆汁の流れが滞り「黄疸」や「肝機能異常」を認めることがあります。

一方で、胆嚢結石はあるけれど全く症状のない方もいます。胆石保有者の約半数は無症状と言われています。

胆嚢ポリープは無症状です。超音波検査などで偶然に見つかることがほとんどです。

<治療法は?>

根本的な治療は手術(胆嚢摘出術)です。無症状の胆嚢結石や小さな胆嚢ポリープは超音波検査などで経過観察となることがあります。しかし、胆嚢に石が沢山ある、胆嚢の壁が厚くて超音波検査での観察が難しい場合、胆嚢ポリープの形や大きさによっては手術をお勧めします。また、症状のある胆嚢結石症は手術の適応とされています。胆石の中でも、コレステロールでできた石については飲み薬による溶解療法や体外衝撃派による破砕も選択肢となりますが、再発が多いことが問題です。

それに対して、外科で行う



手術＝胆嚢摘出術は結石のできる場所そのものを摘出す根本的な治療です。手術は原則腹腔鏡手術で行っています。図のように開腹手術に比べ創が小さいため、術後の痛みが少なく回復が早いのがメリットです。

当院での腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術時間は軽度の炎症であれば約60分、開腹移行率は1%前後です。合併症がなければ手術翌日から食事を開始し術後2～4日目に退院が可能です。

<短期入院手術について>

胆石で手術を受けることになった場合、仕事や家庭の都合で入院期間を短くしたい方もいらっしゃると思います。そのような場合、手術当日入院を利用し2泊3日で退院することも可能です。(具体的には：金曜日の朝入院 → 午後手術 → 日曜日に退院)

既往症や胆嚢の状態によっては対応できないことがありますが、遠慮なくご相談ください。

<総胆管結石がある場合>

胆管結石が合併している場合には消化器内科にて内視鏡的切石術を行っています。

<胆石外来> 毎週水曜日 13時から16時
(13～15時初診・再診、15～16時再診)

担当：榊原 舞 日本内視鏡外科学会技術認定医
(胆嚢摘出術)

かかりつけ医のある方は地域連携室を介しての事前予約がスムーズです。

☆当院外科では尿管管遺残症の手術も行っています。

尿管管遺残症をご存知ですか？若い人に多く、おへそから膿が出たり、尿が出たりする病気です。赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいる胎生期の初めのころ、赤ちゃんの膀胱とおへそは細い管でつながっています。この管が尿管管です。尿管管は成長の過程で閉鎖して索状物となりますが、この閉鎖が不十分なのが尿管管遺残症です。全く閉鎖していない場合にはおへそから尿が出ることがあります。お臍のほうが開鎖していない場合にはお臍の底が奥深く、そこが感染して腫れて膿がでることがあります。治療は手術以外に根本治療がありません。当院では単孔式腹腔鏡手術で治療を行っています。おへそ1か所の傷で手術ができるため整容性に優れるのが特徴です。もしかして尿管管遺残症？と思いがたることがあったらご相談ください。(担当：榊原 月曜外来)



(外科 榊原 舞)

今回から鹿児島でのイギリス人医師ウィリス(図1)についてその跡を追ってみます。資料はウィリス関連の手紙収集の豊富なアーネスト・サトーの日記「遠い崖」萩原を中心にしました。まずはウィリスが大病院を辞める前後から始めます。

ウィリスに予告してあった薩摩藩主義の上京が実現したので、大久保利道はウィリス獲得のために、新政府の内部でしかるべき手を打ったのであろうが、最終的には、英国公使パークスが外務卿沢宜嘉に、ウィリス辞任の許可を求めるかたちになった。

ウィリス辞任の許可を求めるパークスと、沢宜嘉との会談がイギリス公使館でおこなわれたのは、明治2年10月25日(陽暦11月28日)であった。この一件については、後日パークスは、鹿児島行きが決まったため、ウィリスがイギリス外務省員の地位を最終的に放棄することになったと、ウィリス辞表を同封して(1869、12、16付、陰暦11月14日)、簡単に報告しているだけである。ウィリスの言い分の要点は「パークス；局中百事指図いたし、頭支配の姿に相成り候儀に候えば格別、左もこれなく候えば」であろう。このパークスの発言から推測すると、イギリス医学かドイツ医学かというのは、いわば派生的な問題であって、それ以前に、岩佐純と相良知安、さらにふたりを支持する蘭方医出身者の発言力の増大のために、「大病院」の運営が自分の一存だけでゆかなくなったこと、この点にまずウィリスは腹をたてていたのかもしれない。続いて「パークス；ウィリスは代人に係らず、唯今より暇取り度く候。」「沢；その儀は前にも申し入候通り、生徒病客もたぶんこれあり候事ゆえ、ウィリス氏去りて後、代わり人躰も不足候ては、大いに人心に関係し、せつかく取り立て置き候医学校、一朝瓦解と相成り候ては如何にも心配致し候間、何分代人と膝代わりに致し度く候。」まだ約束の一年という期間を約三ヶ月のこし、しかも後任の見通しがつかないまま、ここでウィリスに「大病院」の仕事を投げだされることに、新政府の側がいかに当惑していたかがよくわかる。これに同情したパークスは、シドルは無理だが、だれか適当な人物を横浜で探してみると約束し、それではその後任が見つかるまで、ウィリスの辞任を止めてもらえないかと、沢がさらに懇請すると、パークスは、「拙者より篤と申し聞かすべく候。」と答えたが、ウィリスがこれを聞き入れた形跡はない。パークスの社交辞令にすぎなかったのであろう。

両者の会談の席で、ウィリスの鹿児島行きはまったく登場してこないが、ここで両者が知らなかったはずはない。ともかく、この10月25日(陽暦11月28日)のパークス



図1 ウィリアム・ウィリス、明治3年、34才頃の像

と外務卿沢宜嘉との会談によって、「大病院」辞任についての筋は通したとウィリスは判断したのであろうし、薩摩側もそう考えたのであろう。

ウィリスと薩摩との間で、雇傭期間4年、月給九百ドル(円)という、次の契約が交わされたのは、三日後の10月28日である。契約書中の内田仲之助(政風)と田中清之進は、東京在住の薩摩藩の公用人であり、この契約の立会人はアストンである。

鹿児島藩 内田仲之助、田中清之進、英国岡士(領事)同役人、ウィリアム・ウィリス氏と約条の事

一 右内田仲之助、田中清之進、此書面を以て、医学校教師、鹿児島藩病院の教師に、東京出立十日前より四ヶ年の間、右ウィリアム・ウィリス氏を相傭い申すべき事、就いては右雇いの為月給として九百弗、鹿児島藩より相渡すべき事約条致し候事

以下略

ウィリスの月給900ドル(円)がいかに破格なものであったかここで比較してみます。ドイツ人医師ミュラーとホフマンの月給はそれぞれ600円と300円で、太政大臣(三条実美)：800円、右大臣(岩倉具視)：600円、参議(大久保利道)：500円でした。

これでウィリスの鹿児島行きが最終的に決まったわけです。つづいて13日後の11月12日、ウィリスは東京滞在中の藩主忠義の招きを村田新八らとともにうけます。その二日後の11月14日ウィリスはイギリス外務省員の地位を放棄する辞表をパークスに提出した。そこには、ウィリスが薩摩の病院設立の仕事につくことを懇望されており、さきに公使館から賜暇という便宜で与えられた1年の年限は間もなく切れるし、それを更新できるとは思えないので、この際職を辞したいとだけ述べられている(パークスよりグランドン外相への報告1869、12、18)。

ウィリスが従者林朴庵、薩摩の医師石神良策らとともに東京をあとにしたのは、12月3日(1870、1、4)、船で横浜を発ったのは12月7日(陽暦1月8日)である。船名は富士山であるが、この船は12月9日に神戸に寄港している(石田純郎)。**12月中旬**に鹿児島島の土を踏んだものと思われる。大学校がドイツ人医師雇入れに関する最初の「伺」と言われる下文書を新政府に提出したのは、ウィリスの横浜出発の翌日にあたる。「今般英医ウィリス御暇下され置き候に付いては、急にプロイセン国より盛学の医官二人、英語を以て教授いたし候者、来年より向こう六ヶ年御徴し下され度く、右は医生英語に達し候故、必ず英語にて教授致し呉れ可き様、最初より御定約これあり度く候事」(公文録『東大百年史』)。「医生英語に達し候故」というあたりはウィリスの遺産の一つであろうか。しかし、約二ヶ月後、日本政府が北ドイツ連邦公使ブランドンに対して正式にドイツ人医師の派遣を依頼したときには、英語での教授という条件はなくなっていた。続く。

災害訓練 2018

管理課長 齋藤 雅 男

11月23日(祝・金)に災害訓練を実施しました。この訓練は、当院が地域災害拠点病院に指定されてから4回目となる訓練です。

当日は、職員約180人、看護学校学生約80人、さらに千葉市中央消防署の協力も仰ぎ、傷病者等に対する院内受入体制の確立、的確な情報収集、迅速・確実なトリアージ等災害対応能力の向上を図るなど地域災害拠点病院としての役割を果たし、災害マニュアルの実効性を高めることを目的に実施しました。

過去3回の訓練は、前日に本部や各新設ポスト(GM、赤、黄、緑)を設営していましたが、今回は当日朝8時30分に東京湾北部を震源にマグニチュード7.5の地震が発生した想定で、設営の段階から訓練を開始しました。

最初に本部を立ち上げ、各新設ポストの立ち上げと並行して被災状況等報告訓練を行い、新設ポストの立ち上げ後は参集した職員の受付と各ポストへ振り分ける訓練、看護学生を模擬患者としてトリアージ訓練、トリアージ後の入院や患者搬送訓練、X線・検体検査等の搬送訓練、他医療機関受療状況の確認と受入依頼に関する訓練のほか、X線・検査等のオーダー時に実際に各部門まで患者・検体の搬送、模擬薬剤を使った処方・搬送訓練などを行いました。

また、今回の訓練も千葉市中央消防署救急隊に参加

していただき、救急隊として部隊運用の確立と的確な情報収集や迅速・確実な傷病者のトリアージ・救護活動の初動体制と医療機関との連携による効率的な傷病者搬送体制の確立など災害対応能力の向上を目的にご協力をいただきました。さらに、今までは、模擬患者である看護学生の寒さ対策もあり看護学校の体育館の中に救護所を設置していましたが、今回の訓練ではより実践に即したものにするため救護所は屋外に設置し、約80人の看護学生も寒さの中、患者役を務めました。

職員の異動により毎年メンバーが替わるため混乱したところもありますが、地域災害拠点病院としての使命を果たすため、今後も訓練を重ねマニュアルやアクションカードの実効性を高め、職員一人一人の意識を高めることが重要であると痛感しました。



本部



赤ポスト



緑ポスト



搬送訓練



救急隊救護所



模擬患者の看護学生

「被災者の気持ちに寄り添って」

64期生 3学年 佐久間 美穂

今回、災害訓練に初めて傷病者役で参加しました。授業や実習の中で災害看護や疾患について学んだ上での参加だったため、災害時傷病者が置かれている状況、また不安や苦痛を実際自分たちの肌で感じることができ、学びが深まりました。私は今回かかりつけの病院が倒壊してしまい、代わりに血液透析を行ってもらえる病院を探している傷病者役を演じました。そのため、外傷はなく自力で歩行でき、トリアージでは一番軽症である緑のタグをつけ安全な場所へと避難しました。そこには外傷がある人、お母さんとはぐれた子供、突然なことにパニックになる人、長い時間待つことに怒りを表す人など多くの傷病者がいました。重傷者から搬送されるため、待てば待つほど本当に診察

してくれるのか、大丈夫なのか心配になりました。搬送することが決まった時は「やっとか。」と思いましたが、ほっとしました。しかし、透析を行う病院を探すためにさらに時間がかかりました。そんなとき私に1人の看護師が「今透析を行う病院を一生懸命探しています。大変でしたね。つらかったでしょう。もう少しですから頑張りましょう」と声をかけてくれました。とても安心しました。

今回災害訓練に参加して、病棟で働く看護師の対応を受けて、災害時多くの傷病者がそれぞれ違う思いを抱えていることを忘れずにかかわること、また不安な気持ちに寄り添うことが大切であることを学びました。

この経験を生かして災害時看護師として傷病者に少しでも安心できるような声掛けや対応ができるように、これから知識や技術を磨いていきたいと思います。

「災害訓練の傷病者体験を通して」

64期生 3学年 清水 瑞翔

今回傷病者の役として初めて災害訓練に参加しました。授業で災害看護について学んでいたのですが、災害看護とはどういったものなのかというのは想像がつかみましたが、傷病者の気持ちを想像することができても、その人の気持ちにはなれませんでした。しかし、実際に傷病者役として訓練に参加して、傷病者の不安や苦痛などを体験しました。そのため、医療スタッフの対

応で傷病者の処置や搬送までの速さや精神的なサポートが重要であることを身をもって体験することができました。

私はこの経験を通して、より災害看護に興味を持ちました。来年の4月には、臨床の看護師として働きます。災害時には、看護師としての役割を果たし、いずれDMATでの活動もしていきたいと思いました。そのためには、知識や技術を身につけて、向学心もち看護師としての経験を重ねたいと思います。

平成30年度関東ブロックDMAT訓練に参加しました。

DMAT 利光 靖子

千葉県北西部地震発生を想定した関東ブロックの災害派遣医療チーム(DMAT)による訓練が12月8日に開催されました。この訓練は災害時における医療提供体制を強化するため、関東1都6県持ち回りで毎年行われています。当院は建物やライフラインの被害は軽微であると仮定し、多数傷病者の受入およびDMAT受援(支援のDMAT隊を受け入れること)を行う施設として訓練に参加しました。県や関係機関・他施設等との連携を行うために院内災害対策本部を立ち上げ、机上演習にて多数傷病者受入訓練を行いました。残念ながら当院への他県DMAT隊の派遣はありませんでしたが、院外搬送が必要と判断された患者を千葉大学医学部附属病院内に設置されたDMAT活動拠点本部と連携して搬送調整できました。

DMATは災害地へ出かけて活動すると思われがちですが、自院が被災した場合には院内にて災害対応に



関わります。今回の訓練では先日行った院内災害訓練での問題点も改めて検討する事ができ大変有意義でした。

休日にもかかわらずご協力いただきました職員の皆様には紙上からお礼申し上げます。

がん患者サロンだより

働く人ががんになったとき（1）

がんと診断されると「ショックで先生の説明も頭に残っていない」など、混乱されることがあります。

まして、働いている人ががんになると、「職場の人に迷惑をかける」と、思いつめられる方もあるようです。

大切なことは、ご家族など身近で信頼できる方とお話をするなどして、**落ち着くことと、混乱しているときに会社を辞めるなど重大な決断をしないこと**です。

がんのできた場所や大きさ・広がり、症状など（病期）により、治療の方法・期間などが異なります。色々の検査をして、病期が決められます。治療のために会社を休むことが必要になったり、治療費がかかったりしますので、ご自身の状態や治療しながらの働き方などを、担当医からよく聞いて把握します。

治療のために利用できる社内の福利厚生制度や公的な制度などがありますが、**各制度の利用には、本人からの申告が必要です**。まずは、会社の人事担当・産業保健スタッフ、ハローワーク、がん相談支援センター 市町村の保健センター他、HPなどで情報を集めます。

そして、ご自身の治療に対する気持ちや希望を、ご家族みなで話し合いながら整理していきましょう。

会社や職場の人には、病気の状態や治療の方法・期間だけでなく、**配慮してほしいこともきちんと伝えます**。

参考）がん情報サービス「がんと仕事のQ&A」
厚生労働省「治療と仕事の両立について」など

患者サロンの話題から 職場での関係

働く人が、がんになると気になるのが仕事のことや

職場での人間関係です。

「1年8ヶ月会社に行かなかった（休んでいた）ら、忘れられていた」との方。「会社でがんのこと喋ると引いてしまわれる、周りに何処まで伝えるか・・・」との方。一方、「上司が探り探り聞いてくる」との方も。

なかには「（職場）関連の人には上司から伝えてもらった」との方や、「（飲み会に）誘われても10回の内1～2回しか行かない」と工夫をしている方も。

「職場では何でもないよと言う感じで働いていた。でも、陰では・・・。見た目は元気そうで損だなあ・・・」と思いつつ、「他の人の負担が増えるから・・・」と。

仲間に気遣いを見せながら「自分のペースで（仕事）出来ればよかったけど・・・」との方も。

世話人一同も体験者です。ご一緒にお話して、工夫やヒントを見つけてみませんか。ご参加をお待ちしております。（宗水）

がん患者サロン シャント発声交流会開催案内 （旧プロヴォックス患者交流会）

日時：毎月第4金曜日 13：30～16：00

1月25日(金) 2月22日(金)
3月22日(金) 4月26日(金)

場所：千葉医療センター内会議室
（当日、道順案内を掲示します）

対象：主としてがん体験者及び、そのご家族です。
どちらの医療機関に掛かっておられても参加できます。
（予約不要、参加費は無料です）

問い合わせ：TEL 043-251-5311（代表）

（経営企画室 石澤）

市民健康づくり大会

外来係長 藤川 智 昭

「健やか未来都市を目指して市民健康づくり大会」が10月13日(土)「Qiball(きぼーる)」において開催され、千葉医療センターでは、健康相談のブースを設置しました。当センターの他に、千葉市医師会、千葉市薬剤師会、千葉市歯科医師会、千葉市助産師会など多数の参加があり、体験・相談等が各ブースで行われました。

当センターからは健康相談として医療相談、お薬相談、検査相談、栄養相談を行い、看護師による血糖値測定、放射線技師による骨密度測定を行いました。当センターのブースには延べ396名と多くの方が体験を

されました。

日頃、市民の皆様とふれ合う機会が少ないので、こうして沢山の方々と接することにより、千葉医療セン



会場風景

ターのアピールが出来たのではないかと思います。

当日、ご協力いただきました関係各位に改めて御礼申し上げます。

院内コンサートを開催しました！

庶務班長 渡邊 孝

平成30年10月23日及び12月13日に、患者サービス推進委員会の主催により、院内コンサートを開催しました。

10月23日には、地域で活躍されているオヤジバンド(笑)の「椿森ストリングス」さんをお招きして、「瀬戸の花嫁」や「四季の歌」など昭和レトロの歌をご披露いただきました。

来場した患者さんとも一緒に歌い、楽しいひとときを過ごすことができました。



また、12月13日はチェロ奏者の城戸春子さんをお招きし、クリスマスコンサートを開催しました。5月に開催したオーボエ演奏のコンサート同様、歯科口腔外科の中津留医長の紹介により、今回のコンサートが実現しました。「きよしこのよる」から始まり、最後の「川の流れるように」は来場者全員による合唱で締めくくりました。アンコールを含め計11曲を演奏いただき、チェロとピアノの素敵な音色に酔いしれました。コンサート開催にあたり、協力いただいた関係者の皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。



栄養管理室の取り組みが平成30年度QC活動奨励表彰でグループ優秀賞を受賞しました。

栄養管理室長 宮本 佳世子

国立病院機構には、国立病院機構QC(Quality Control)活動奨励表彰制度があり、「国立病院機構の病院職員が自施設内の課題について、業務の質の向上を



左：手代木栄養士、右：筆者
中央：国立病院機構・楠岡理事長

目指して自主的に取り組む活動」を募り、その中から優秀と思われた取り組みを表彰するものです。今年度も多数の応募があった中、当院栄養管理室が「優秀賞」を受賞することが出来ました。残念ながら最優秀賞ではありませんでしたが、関東信越グループ32施設中、受賞は当院を含め6施設ですので大変光栄に思います。

今回受賞した内容は「非常食レボリューション2018～栄養管理室奮闘記～」と題した非常食の管理・運用についてです。最近各地で様々な災害が発災し「非常食」への関心は高いと思いますが、「保存食」という性質上、災害が落ち着くとあまり話題にはなりません。しかし、常日頃からの管理が災害時の対応を左右することになります。

そこで当部門では、スタッフの労務負担にならない工夫をして、実際の災害を想定した非常食管理を4年間かけて構築し、継続

維持しています。また非常食を通常の患者給食の食料として用いる際、美味しく召し上がって頂けるよう創意工夫を行い、メッセージカードを添付して提供しています。

これにより患者さんにも在宅での非常食を意識して頂き、当部門スタッフにはミニ災害訓練に繋がっているという活動を評価して頂き、受賞となりました。

但し、これらは大変地道な作業で、今回の受賞はこの地道な作業を日々行っている特に若い管理栄養士の労務に報いることが出来、大変うれしく思っています。どこの施設でもどの部門でも、地道で誠実な業務を行うスタッフが施設を支えていると思います。そのようなスタッフの活動を評価して頂いた機構本部やグループの皆様改めて感謝申し上げ、今後の業務の糧にしたいと思います。



関東信越グループ受賞施設・集合写真 千葉医療センターは前後中央の2名

椿森中学校の思春期教室に参加して

平成30年9月27日に、千葉市立椿森中学校で思春期教室が実施されました。この教室は「生命の尊さを考えてもらい、パートナーを思いやる心を育成すること」を目的として、PTAなどの地域と助産師会が協力して、中学3年生を対象に行っているもので、今年度より当校の教員も講師として参加することになりました。プログラムとしては「助産師の講話」「母親と0歳児とのふれあい」「妊婦体験」があり、当校は妊婦体験を教員5人で担当しました。

体験をした生徒は「お腹がこんなに重く思わなかった」「優先席では率先して席を譲りたい」「大変な思いをしながら自分を産んで育ててくれた両親にお礼を言いたい」等の感想



妊婦体験の場面

を、目を輝かせながら話してくれました。教員一同、生徒に「生命の尊さ」や「パートナー同志が愛情を注ぎ、協力しながら育児をしていく尊さ」を感じていました。この出会いを大切に、今後も地域の方々との連携が深まれば幸いです。

戴帽式を終えて

戴帽生(66期生) 鈴木里菜・千葉優里奈

平成30年10月18日、第66期生の戴帽式が挙行されました。

戴帽式に向けて私たちは休み時間に学年全員で集まり、誓いの言葉やナイチンゲール讃歌を何度も練習をして式に臨みました。式の日が近づくにつれて、自分たちの気持ちも引き締まっていきました。



式では学校長先生をはじめご来賓の皆様、上級生からあたたかいお祝いの言葉をいただき心より感謝申し上げます。厳かな雰囲気の中、女性はナースキャップ、男性はエンブレムを戴きました。誓いの言葉には、簡潔でわかりやすく看護師としてすべきことがまとめられていると考えて「ナイチン



ゲール誓詞」を選びました。戴帽式を終えて看護師になるものとしての心構え責任感を自覚し、決意を新たにすることができました。これから実習で患者さんに接することになります。私たちは患者さんと真摯に向き合い、信頼され、心身ともに癒すことのできる看護師をめざし、これからも努力したいと思います。

クリスマス会

自治会担当教員 大澤照代

千葉医療センター患者サービス推進委員会と学生自治会によるクリスマス会を平成30年12月20日(休)に行いました。臨地実習でお世話になった患者さんに感謝の気持ちを込めて、病棟内でキャンドルサービスとラウンジでミニコンサートを行いました。キャンドルサービスではクリスマスソングを合唱し、学生全員で作成したクリスマスカードを入院中の患者さん一人一人に手渡しました。患者さんは笑顔で「入院中にプレゼントがあるなんて…ありがとう。早く治さないとね」「学生さんが作ったの、すてきね」などお礼の言葉をいただきました。

ミニコンサートでは、トナカイの耳やサンタクロースの鼻をつけた学生がクリスマスソングの合唱とハンドベルの演奏でクリスマス気分を盛り上げました。演奏後には患者さんから大きな拍手をいただきました。クリスマス会の翌日に病棟



にお礼に伺うと、夜勤の看護師さんから、患者さんが、「このクリスマスカード学生のプレゼントなの」と大切に枕元において何度も見ていたと教えてくれました。患者さんの気持ちに学生は感謝しクリスマス会を行って良かったと実感しました。

クリスマス会の企画・運営で学生は全員で協力し成し遂げる達成感を学びました。また患者さんの笑顔や言葉から看護師として相手を思う気持ちや感謝する心を育みました。

最後になりますが、クリスマス会の実施にあたりご協力いただきました病院関係者の皆様にお礼申し上げます。

市民健康セミナーの開催

当院では千葉市民の皆様に健全な生活を営んで頂くために、少しでもそのお手伝いのできればと考え、8月を除く毎月「市民健康セミナー」を当院地域医療研修センターで開催しております。

10月～12月に行われたセミナー

- 10月25日(木)
「脂肪は敵?・味方?
～最近の脂肪(食物)の話題について～」
講師: 栄養管理室長 宮本 佳世子
- 11月22日(木)
「放射線治療」
講師: 放射線科医長 酒井 光弘
- 12月27日(木)
「末梢神経の病気」
講師: 神経内科 長瀬 さつき

今後の予定

第4木曜日 午後2時から4時
会場: 当院地域医療研修センター

- 1月24日(木)
「食道がんと胃がん」
講師: 外科 石毛 孔明
- 2月28日(木)
「急性腹症について」
講師: 外科 小倉 皓一郎
- 3月28日(木)
「肺がんの手術療法について」
講師: 呼吸器外科 芳野 充

セミナーに10回参加された方には記念品をさしあげます。

(お問い合わせ先 管理課)

専門外来担当医師表

診療科	月	火	水	木	金
和漢診療科			永井千草 8:30～13:00 完全予約		
肝胆脾外来・消化器内視鏡外来(内科)	[交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制	[交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制	[交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制	[交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制	[交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制
不整脈外来(循環器内科)			中野正博(第2・4水曜日) 14:00～16:30 完全予約制		
腎内科(内科)		今澤俊之 (第1・第3火曜日)13:00～16:00	上田志朗 (第2・4水曜日)8:30～11:00		
外科・消化器外科(外科)		[交替医] 13:00～15:00 紹介制・予約制			[交替医] 13:00～15:00 紹介制・予約制
胆石外来(外科)			榊原 舞 (初診・再診)13:00～15:00 (再診のみ)15:00～16:00		
股・膝関節外来(外科)			阿部 功(股関節) 14:00～15:30 紹介制・完全予約制	白井周史(膝関節) 13:30～15:00 紹介制・完全予約制	
ヘルニア専門外来(外科)				山本海介 13:00～15:00	
緩和ケア外来(外科)		豊田康義 手渡(認定看護師) 13:30～15:30 完全予約制	豊田康義 手渡(認定看護師) 9:30～11:00 完全予約制		
ストーマ外来(外科)					谷(認定看護師) 9:00～12:00 完全予約制
禁煙外来(外科)			守正浩 13:00～ 完全予約制	守正浩 13:00～ 完全予約制	
肛門外来(外科)	守正浩 14:00～16:00 完全予約制		守正浩 14:00～16:00 完全予約制	守正浩 14:00～16:00 完全予約制	
助産師外来(産婦人科)		<完全予約制>午後		<完全予約制>午前・午後	
母乳外来(産婦人科)	<完全予約制>午後2枠		<完全予約制>午後2枠		<完全予約制>午後2枠
性カウンセリング(産婦人科)				大川玲子 8:30～17:00 完全予約制	

検査担当医師表

診療科	月	火	水	木	金
胃内視鏡検査 (午前)	金田 暁	田村 玲	齊藤正明	阿部朝美	伊藤健治
	里見大介		里見/土岐	福富 聡	
大腸ファイバー(午後)	内科交替医	外科交替医	外科交替医	外科交替医	内科交替医
超音波	腹部	芳賀祐規	阿部朝美	田村 玲	伊藤健治
	心臓			山田善重 <第2・4木曜日> 午前	金田/宮村 高見 徹

編集後記

昨年の新語・流行語大賞は「そだね」だそうです。平昌五輪での女子カーリングチームの活躍とテレビ中継で流される彼女たちのコミュニケーションの言葉が広く親しまれたのが要因かなと思います。さて、今年はいよいよ平成から代替わりする年ですが、調べてみると昭和から平成に代替わりしたときの1989年の新語大賞は「セクシャルハラメント」だったようです。当時はバブル期真っ只中で株価も史上最高値を記録しましたが、翌年からバブル崩壊が始まるなど激動の始まりの年でもありました。30年ぶりの代替わりの年となる今年はどんな年になるでしょうか。(M.S)

【編集委員名簿】

(編集長 齋藤幸雄)
(副編集長 雨宮伸治)
(森嶋友一) (齋藤雅男)
(神長雅浩) (久保慶宜)
(徳淵真由美) (坂野和彦)
(佐藤厚子)

平成31年1月1日から

外来診療担当医師表

原則として、
受付時間は平日の8:30~11:30

診療科		月	火	水	木	金	
内科	新患	杉浦信之 齊藤正明	[交替医] 齊藤正明	[交替医] [交替医]	金田 暁 田村 玲	齊藤正明 岡澤哲也	
	再診	呼吸器内科 <small>新患は完全紹介制</small>	丸岡美貴 安田直史	西村大樹 白石結佳	江渡秀紀 野口直子	丸岡美貴 西村大樹	江渡秀紀 安田直史
		消化器内科 <small>(消化管、肝、胆、脾)</small>	伊藤健治 田村 玲	金田 暁 宮村達雄	伊藤健治 阿部朝美	篠崎勇介 西村光司	阿部朝美 大内麻愉
		総合内科		芳賀祐規	内田彩月 <small><第1・3・5水曜日></small>	後藤茂正(血液) / 森 泰子	上原 多恵子(血液)
	糖尿病代謝内科 <small>新患は完全紹介制</small>	島田典生	石塚伸子	島田典生	岡澤哲也 大原恵美	島田典生 大原恵美	
脳神経内科 <small>(旧：神経内科) 新患は紹介制・完全予約制</small>	長瀬 さつき	古本英晴	長瀬 さつき	古本英晴	櫻井 透		
精神・神経科 <small>新患は予約制(水・木のみ)</small>	海宝美和子	高橋 絵理子	海宝美和子 岡田祐輝	清原雅生	楠戸 恵介		
循環器内科 <small>新患は完全紹介制 月曜日は完全予約制 受付は10時まで</small>	高見 徹	久保健一郎	梶山貴嗣	高見 徹	中里 毅		
小児科	重田みどり	鈴木裕子	重田みどり	宮内厚子	渡邊博子		
外科・消化器外科	森嶋友一 福富 聡 榊原 舞 守 正浩	[交替医]	豊田康義(緩和ケア) 山本海介 利光靖子 石毛孔明	里見大介 野村 悟 土岐朋子 小倉皓一郎	[交替医]		
	鈴木正人 中野茂治	鈴木正人 中野茂治	手術日	鈴木正人 中野茂治	鈴木正人 中野茂治		
乳腺外科 <small>紹介制・完全予約制</small>	大河昭彦 阿部 功 村上宏宇 白井周史	[交替医]	大河昭彦 阿部 功 林 浩一 神野敬士朗 俊 徳保	村上宏宇 白井周史 林 浩一 神野敬士朗 俊 徳保	[交替医]		
整形外科 <small>火・金の受付は10時まで</small>	手術日	鈴木文子 富永真以	手術日	鈴木文子 富永真以	鈴木文子 富永真以		
脳神経外科 <small>紹介制・完全予約制</small>	手術日	丹野裕和	手術日	手術日	尾崎裕昭 大石博通		
呼吸器外科	斎藤幸雄	手術日	斎藤幸雄	千代雅子 芳野 充	千代雅子		
心臓血管外科	手術日	中谷 充 <small><完全予約制></small>	平野雅生 鬼頭浩之	手術日	中谷 充		
皮膚科 <small>火・木・金は完全予約制 新患は完全紹介制 月・水の受付は10時まで</small>	大久保倫代 秋田 文	[交替医] <small><完全予約制></small>	大久保倫代 秋田 文	角田寿之 <small><完全予約制></small>	[交替医] <small><完全予約制></small>		
泌尿器科 <small>新患は紹介制(月・火・木・金) 水曜休診 金曜の受付は10時まで</small>	一色真造 櫻山由利 川名庸子 宮内武弥 安藤敬佑	櫻山由利 一色真造	手術日	櫻山由利 川名庸子 安藤敬佑	[交替医] 手術日		
産婦人科 <small>婦人科新患受付は月・水・金(紹介制) 産科新患受付は月・水・金</small>	黒田香織 藤田久子	<small><完全予約制></small>	岡嶋祐子 關 公美子 藤田久子(産)	<small><完全予約制></small>	岡嶋祐子 木嶋由理子 關 公美子(産)		
眼 科 <small>新患は紹介制 再診は予約制 受付は10時まで</small>	新井みゆき 岡田恭子 大岡恵美 櫻井まどか	新井みゆき 岡田恭子 大岡恵美 櫻井まどか	新井みゆき 岡田恭子 大岡恵美 櫻井まどか	手術日 外来注射日	岡田恭子 大岡恵美 櫻井まどか 永井達也		
	手術日(午後)	手術日(午後)	手術日(午後)				
頭頸部外科・耳鼻咽喉科 <small>新患は紹介制 再診は予約制 火・水の受付は10時まで</small>	渋谷真理子 坂本夏海 新見理恵	渋谷真理子 鈴木 誉	[交替医] 手術日 <small>※新患のみ</small>	手術日	鈴木 誉 坂本夏海 新見理恵		
放射線科 治療	酒井光弘 <small><完全予約制></small>		酒井光弘 <small><完全予約制></small>		酒井光弘 <small><完全予約制></small>		
歯科口腔外科 <small>新患は紹介制 再診は予約制</small>	中津留 誠 嶋田 健 武内 新	中津留 誠 嶋田 健 武内 新	中津留 誠 <small>第1・第3午後休診</small> 嶋田 健 武内 新	嶋田 健 武内 新	中津留 誠 嶋田 健 武内 新		
	病理診断科	<small><完全予約制(月~金)></small>					

※専門外来・検査担当表は11ページに掲載しています。